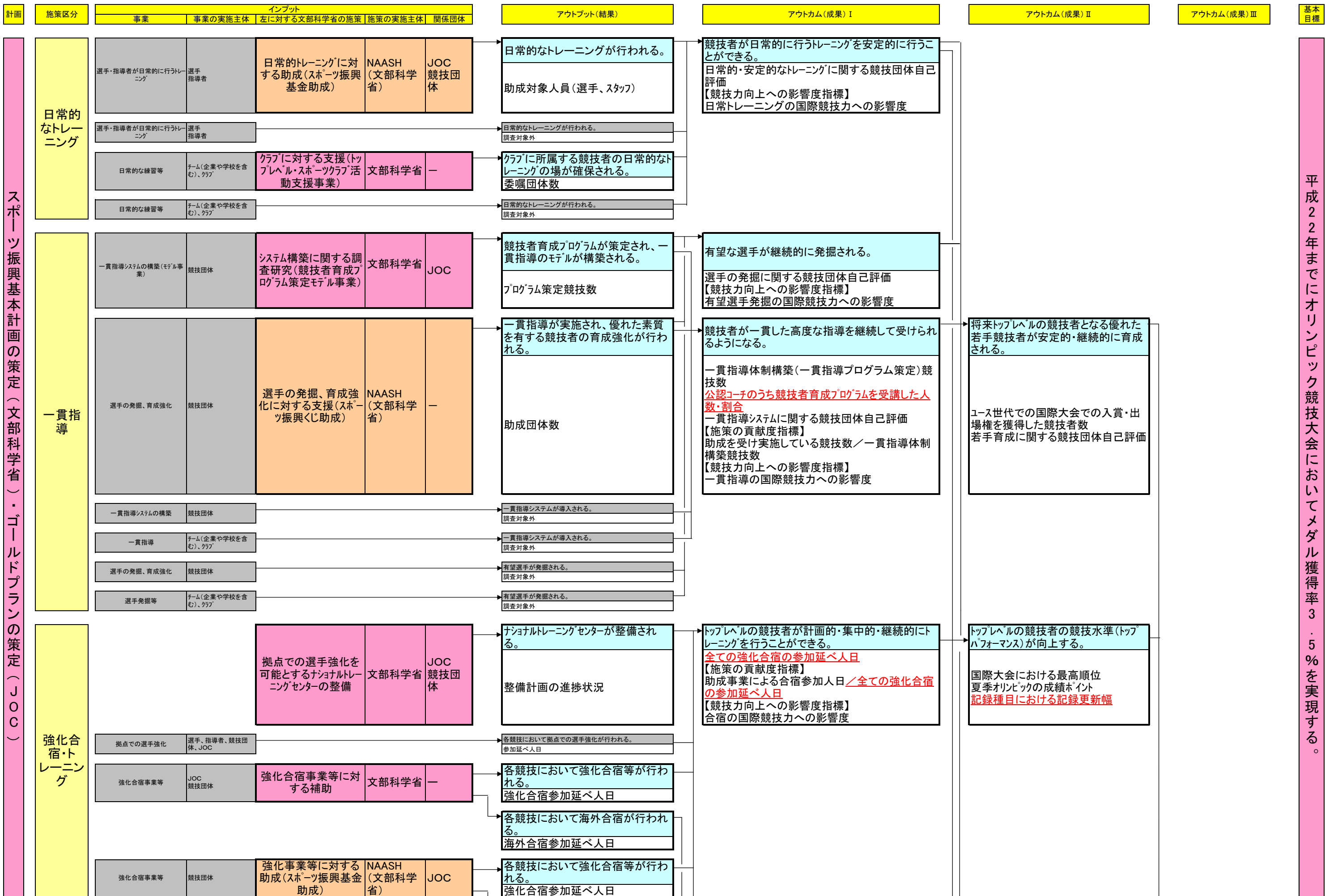


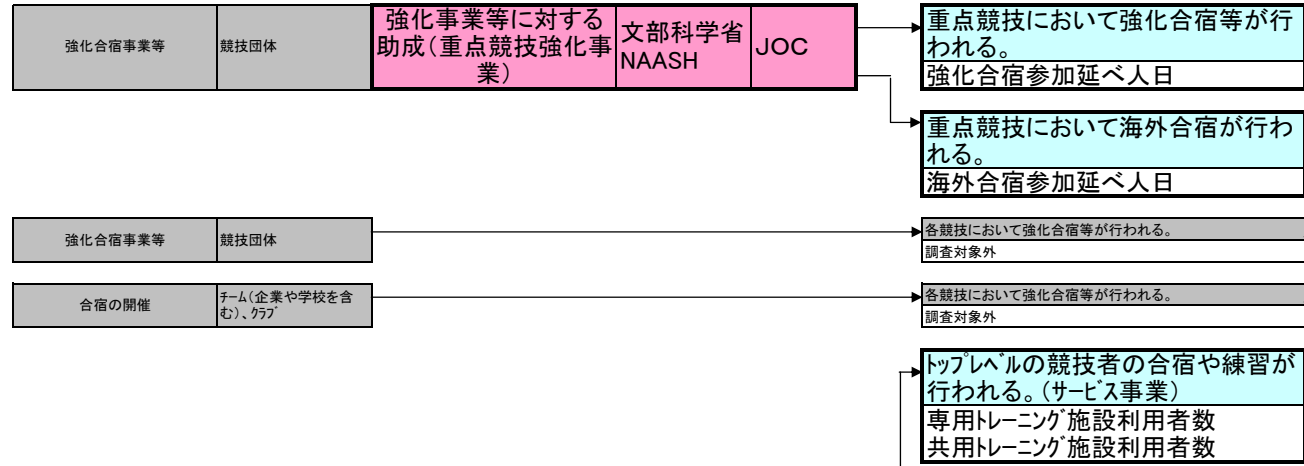
5 国際競技力向上施策のロジックモデル



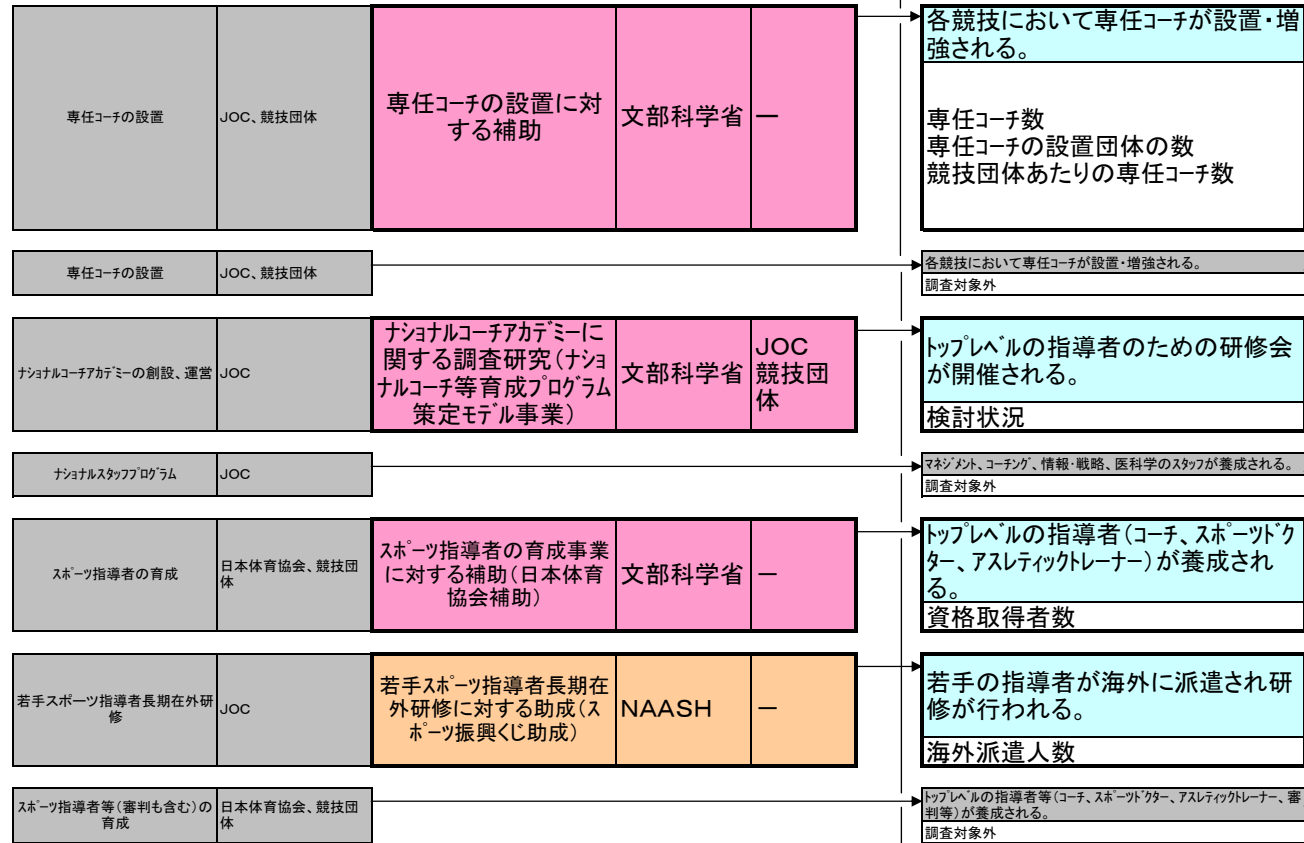
スポーツ振興基本計画の策定(文部科学省)・ゴールドプランの策定(JOC)

平成22年までにオリンピック競技大会においてメダル獲得率3・5%を実現する。

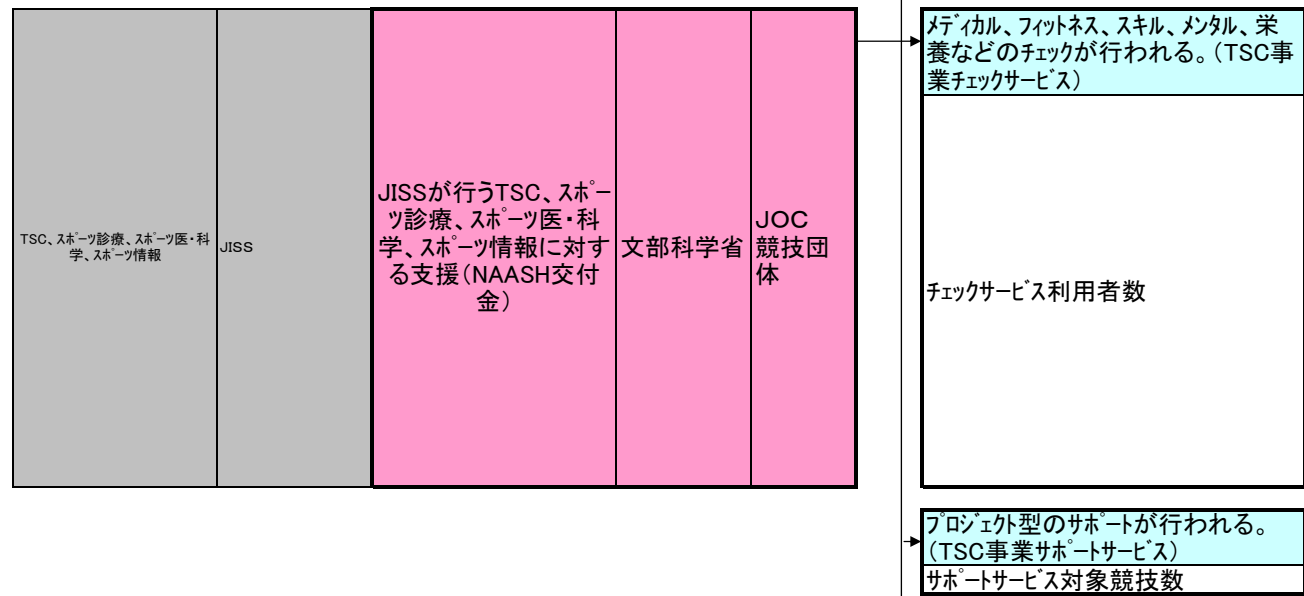
強化合宿・トレーニング



指導者の養成・確保



スポーツ医・科学・情報によるサポート



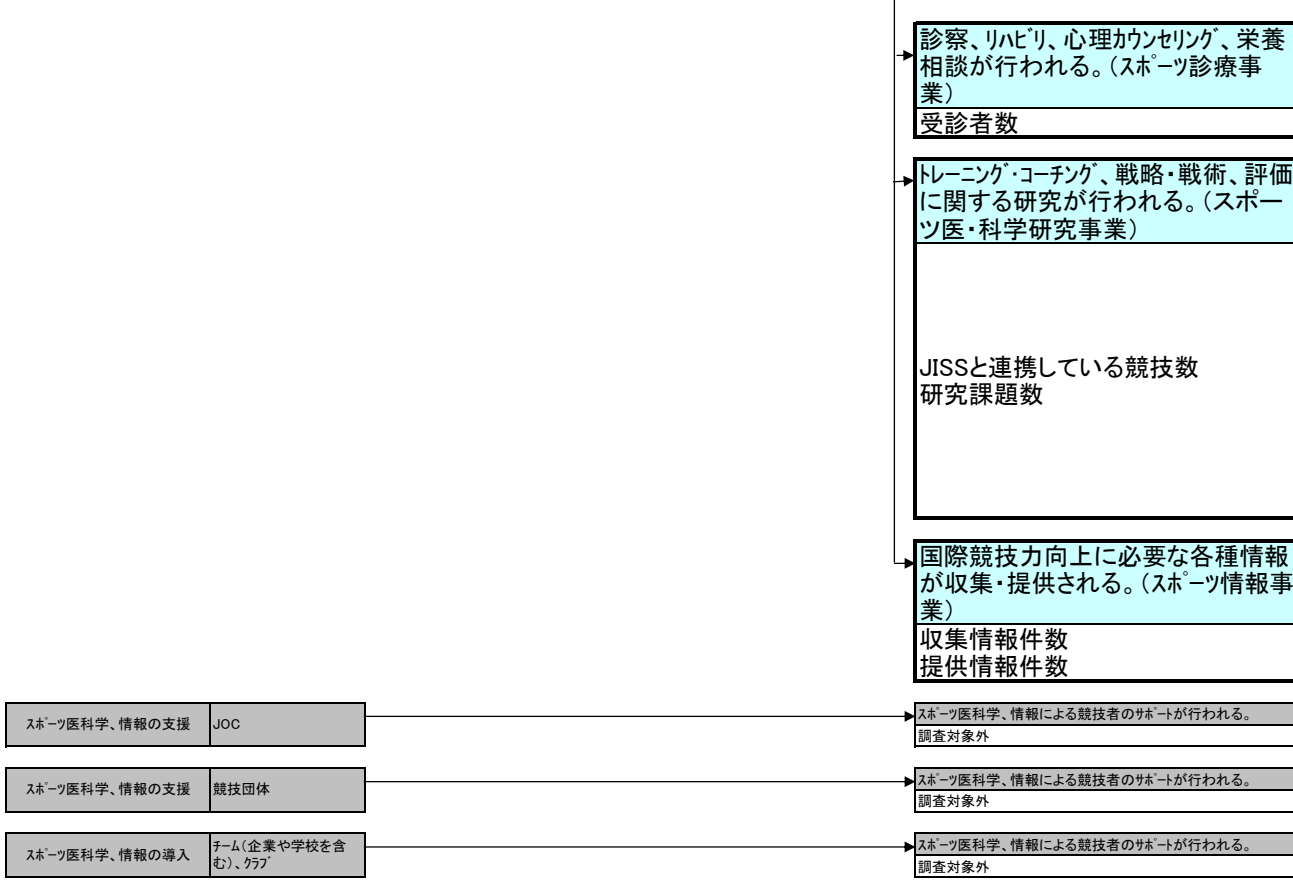
トップレベルの競技者に対して適切な指導・強化が行われる。
専任コーチやトップレベルの指導者の指導を受けたトップレベルの競技者の割合
【施策貢献度指標】
強化スタッフに占める体協公認指導者の割合
【競技力向上への影響度指標】
適切な指導の国際競技力への影響度

医・科学的な指導やトレーニング、メンタル面のサービスやトレーニング、コンディショニングが必要な競技者及び競技団体に対して行われる。
医学・メンタル面のサービスを受ける必要のある強化指定選手のうち当該サービスを受けた選手の割合
医学サポートを実施している競技団体数
【施策の貢献度指標】
JISSの医学・メンタル面のサービスを受けた強化指定選手／医学・メンタル面のサービスを受けた全ての強化指定選手
JISSで医学サポートを実施した競技団体数／医学サポートを実施した競技団体数
JISSの支援によって可能となった医学サポートに関する取組数
【競技力向上への影響度指標】
医学サポートの国際競技力への影響度

競技大会においてその時点の競技力が最大限発揮される。
直前の国際ランキングに対する競技大会での成績
記録種目における自己ベスト更新の割合
競技力発揮に関する競技団体の自己評価

国際競技力が向上する。
国際大会でのメダル獲得率
国際大会での入賞者率
国際大会での出場権獲得率

スポーツ医・科学・情報によるサポート



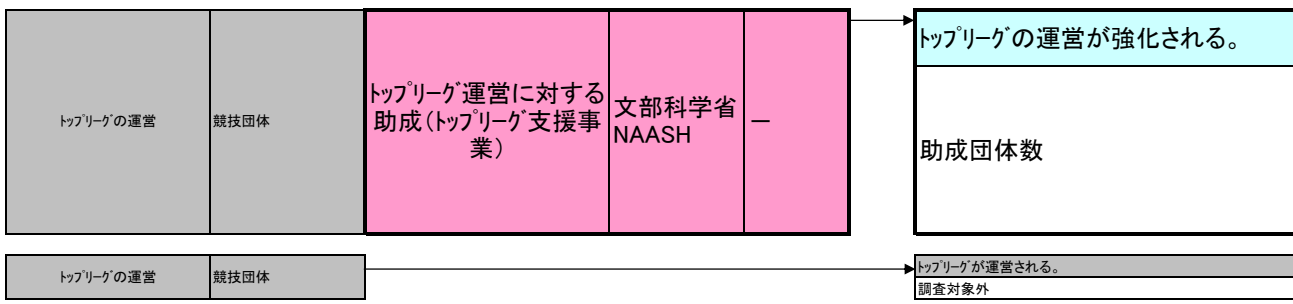
現場の担当者から競技団体やJOC等の組織に至る各段階において科学的な分析や対戦相手の分析、的確な戦略立案が行われる。

強化プランを有している競技団体数
情報の収集・分析・伝達方法を確立している競技団体数
情報戦略活動の実施状況
【施策の貢献度指標】
上記のうち、JISSからの情報をきっかけとして実施された取組数
【競技力向上への影響度指標】
情報戦略の国際競技力への影響度

競技大会において的確なプランや戦略が実行される。

計画されたプランや戦略の実現度

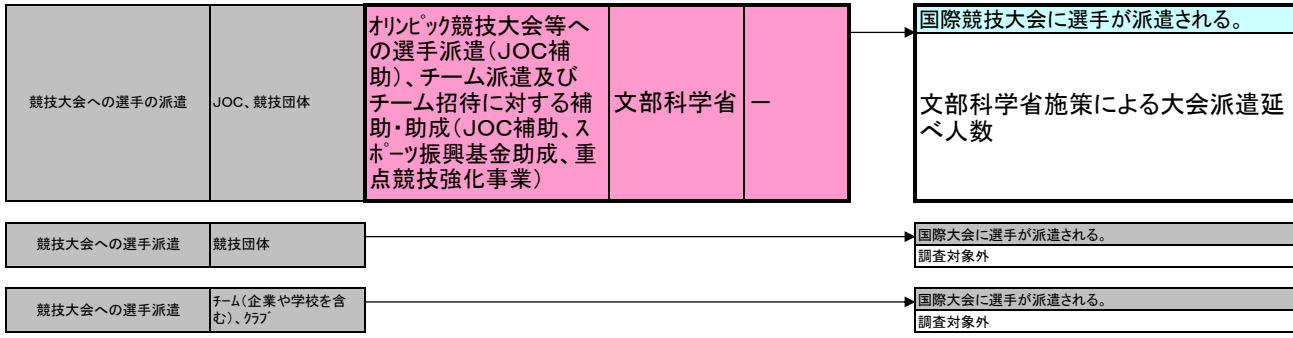
トップリーグの運営



トップレベルの競技者が定常的に試合に出場することができる。

トップリーグでの試合数・出場選手数
【施策の貢献度指標】
助成を受けているリーグの試合数・出場選手数／**全てのリーグの試合数・出場選手数**
【競技力向上への影響度指標】
定常的な試合出場の国際競技力への影響度

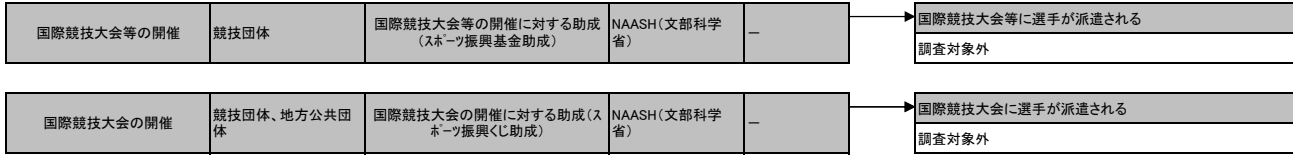
国際競技大会への選手の派遣



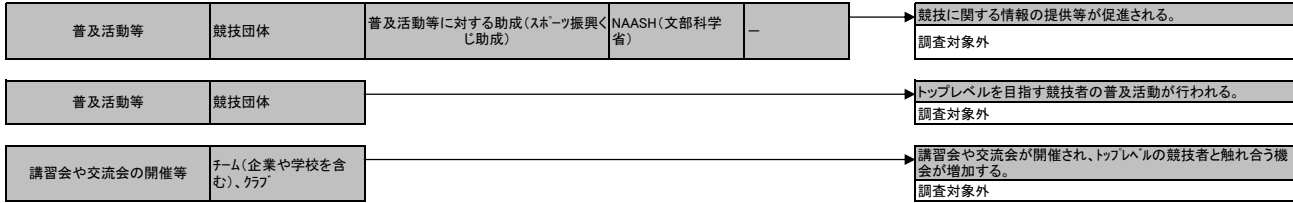
トップレベルの競技者の国際経験が積まれる。

国際競技大会参加延べ人数
【施策の貢献度評価指標】
助成による国際競技大会参加延べ人数／**全ての国際競技大会参加延べ人数**
【競技力向上への影響度指標】
国際経験の国際競技力への影響度

国際競技大会等の開催

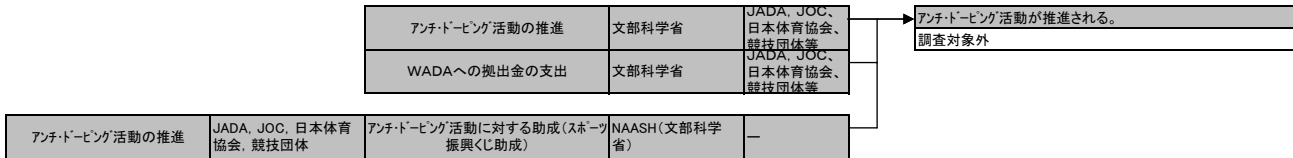


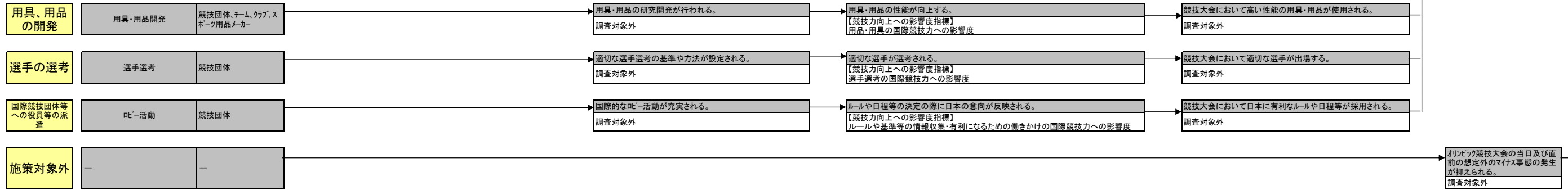
トップを目指す競技人口拡大



トップレベルを目指す競技人口が増える。
【競技力向上への影響度指標】
競技人口の国際競技力への影響度

アンチドーピング活動の推進





※ NAASHは独立行政法人日本スポーツ振興センターを、JISSはNAASHの一部門である国立スポーツ科学センターを、JOCは財団法人日本オリンピック委員会を、JADAは財団法人日本アンチ・ドーピング機構を表す。

凡例

下段は、各状況の評価に必要な指標

本調査の評価対象施策

本調査の評価対象施策

本調査の評価対象ロジック